

# Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/000648

International filing date: 20 January 2005 (20.01.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP  
Number: 2004-017509  
Filing date: 26 January 2004 (26.01.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 17 March 2005 (17.03.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland  
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

27. 1. 2005

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日            2 0 0 4 年   1 月 2 6 日  
Date of Application:

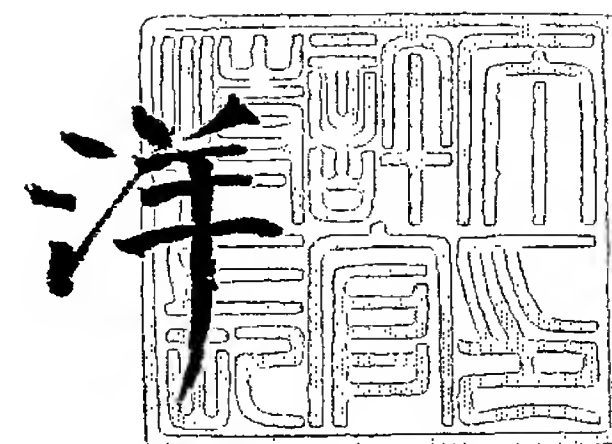
出 願 番 号            特 願 2 0 0 4 - 0 1 7 5 0 9  
Application Number:  
[ST. 10/C]:            [ J P 2 0 0 4 - 0 1 7 5 0 9 ]

出      願      人            大塚製薬株式会社  
Applicant(s):

2 0 0 5 年   3 月   3 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

小 川



【書類名】 特許願  
【整理番号】 162004JP  
【提出日】 平成16年 1月26日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 B65D 83/08  
【発明者】  
    【住所又は居所】 埼玉県上尾市上 1 0 2 9 - 5  
    【氏名】 大野 正広  
【発明者】  
    【住所又は居所】 千葉県四街道市大日 2 3 4 - 2  
    【氏名】 橋高 浩史  
【特許出願人】  
    【識別番号】 000206956  
    【氏名又は名称】 大塚製薬株式会社  
【代理人】  
    【識別番号】 100065215  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 三枝 英二  
    【電話番号】 06-6203-0941  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100094101  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 館 泰光  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100114616  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 眞下 晋一  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100124028  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 松本 公雄  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100124039  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 立花 顕治  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 001616  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 図面 1  
    【物件名】 要約書 1  
    【包括委任状番号】 0313039

## 【書類名】 特許請求の範囲

## 【請求項 1】

重ねて束にした状態で収容されるシート製品を一枚ずつ取り出すのに適したシート製品用容器であって、

トレイ状の容器本体と、該容器本体に摺動自在に取り付けられた開閉蓋と、前記容器内に収容される前記シート製品を前記開閉蓋に向けて弾性的に押圧する押圧部材と、該押圧部材によって押圧される前記シート製品の少なくとも一部と摩擦接触し前記開閉蓋の開動作に伴って前記シート製品を前記容器内から送り出すように前記開閉蓋の内側面に設けられた摩擦抵抗部と、前記開閉蓋の開動作に伴う前記摩擦抵抗部による前記シート製品の後退動を阻止するように前記容器本体に設けられたストッパー部と、を有することを特徴とするシート製品用容器。

## 【請求項 2】

前記押圧部材は、板バネによって形成され、該板バネは、前記容器本体の底部に取り付けられた取付端部と、該取付端部から傾斜状に延びる傾斜部と、該傾斜部の先端に設けた押圧部と、を有することを特徴とする請求項 1 に記載のシート製品用容器。

## 【請求項 3】

前記容器本体及び開閉蓋の開閉端の側縁形状が、略同一形状であって平面視凹状に形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシート製品用容器。

## 【請求項 4】

前記シート製品が、可食性フィルムであることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れかに記載のシート製品用容器。

【書類名】 明細書

【発明の名称】 シート製品用容器

【技術分野】

【0 0 0 1】

本発明は、可食性フィルム、油取り紙等のシート製品を積層して収容し取り出すのに適したシート製品用容器に関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

従来、この種の容器として、矩形をした薄いケースの上面左右一方側に開閉蓋が形成されているもの（例えば、特許文献1参照）、容器がケース本体とスライド蓋からなり、スライド蓋をスライドさせることにより開閉するもの（例えば、特許文献2参照）が知られている。

【特許文献1】 意匠登録第 1 0 0 1 4 7 2 号公報

【特許文献2】 実公平 7 - 3 8 2 0 4 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0 0 0 3】

しかしながら、上記従来の容器ではシート製品を一枚ずつ取り出すのに難儀することがしばしばであった。

【0 0 0 4】

例えば、可食性フィルムは、一般には厚みが 3 0 ~ 5 5  $\mu$  m の水溶性フィルムであるが、表面が滑らかで滑りやすいため、指が乾燥していると取り出しにくく、指を舌で舐めて濡らす等してから、指に粘着させて取り出すのが一般的であった。そのため、最上層の可食性フィルムを濡らすとその下の層の可食性フィルムにまで湿分が及び、上下層の可食性フィルムが接着してしまうことがあり、その結果、一枚ずつ取り出せなくなることがあった。また、可食性フィルムは、上記の如く非常に薄くて滑りやすいため、そもそも一枚ずつ取り出すことが困難であった。

【0 0 0 5】

また、例えば、油取り紙の場合も、表面が滑らかであり、乾燥した指では滑りやすいため、束になっている状態から一枚ずつ取り出しにくいという問題があった。

【0 0 0 6】

本発明は、上記問題に鑑みて、容器内に収容されたシート製品の束から一枚ずつ取り出し易くした、シート製品用容器を提供することを主たる目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0 0 0 7】

上記目的を達成するため、本発明に係るシート製品用容器は、トレイ状の容器本体と、該容器本体に摺動自在に取り付けられた開閉蓋と、前記容器内に収容されるシート製品を前記開閉蓋に向けて弾性的に押圧する押圧部材と、該押圧部材によって押圧されるシート製品の少なくとも一部と摩擦接触し前記開閉蓋の開動作に伴って前記シート製品を前記容器内から送り出すように前記開閉蓋の内側面に設けられた摩擦抵抗部と、前記開閉蓋の開動作に伴う前記摩擦抵抗部による前記シート製品の後退動を阻止するように前記容器本体に設けられたストッパー部と、を有することを特徴とする。

【発明の効果】

【0 0 0 8】

本発明に係るシート製品用容器は、上記手段のように構成したので、押圧部材によってシート製品の束を開閉蓋の内側面に向けて押し付けることで、開閉蓋の内側面に設けられた摩擦抵抗部とシート製品の最上層との間に作用する摩擦力が増し、開閉蓋の開閉動に伴って最上層のシート製品を移動させる。

【0 0 0 9】

開閉蓋の開動作に伴うシート製品の後退動はストッパー部によって阻止され、その開動



作に続く閉動作に伴ってシート製品が進出動することによって、シート製品の束のうち最上層にあるシート製品が容器から送り出される。

【0010】

こうして、開閉蓋を開閉操作するだけで、シート製品用容器内に收容されているシート製品の束のうち最上層にあるシート製品を容易に取り出すことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

以下、本発明に係るシート製品用容器の最良の実施形態について、以下に図1～5を参照して説明する。なお、全図を通し、同様の構成部分には同符号を付した。

【0012】

シート製品用容器1は、トレイ状をした容器本体2に開閉蓋3が取り付けられている。開閉蓋3は、その両側片3aの内側面下端に凸条3b（図3参照）を有し、容器本体2の外側面下端には、両側片3aの凸条3bが嵌まる凹溝2a（図4（c）参照）が形成されている。凸条3bが凹溝2aに嵌合することにより、開閉蓋3は、容器本体2に対して摺動可能に取り付けられている。容器本体2に対して開閉蓋3を摺動させることにより、開閉蓋3が開閉する。開閉蓋3の開閉操作を容易ならしめるため、開閉蓋3の天板3cに、指の一部を入れることのできる凹部3c'を形成しておくことができる。

【0013】

容器本体2には、收容したシート製品4を開閉蓋3の内側面に弾性的に押圧する押圧部材5が取り付けられている。シート製品4は、例えば、可食性フィルムや油取り紙とすることができる。なお、可食性フィルムの厚みは、1～2000 $\mu$ mとすることができ、好ましくは30～55 $\mu$ mである。可食性フィルムには、食品に限らず、医薬品も含まれる。

【0014】

容器本体2の内部には仕切り板6が形成されており、仕切り板6の略中央下端には、スリット6a（図4（c）参照）が形成されている。また、容器本体2の底面には、スリット6aの近傍に係止突部2bが形成されている。

【0015】

押圧部材5は、図示例では、板バネによって形成されている。この板バネは、滑らかな表面を有するプラスチックシート等の可撓性シート材料で形成することができる。押圧部材5を構成している板バネは、図2及び図5を参照すれば、容器本体2の底部に取り付けられる取付端部5aと、取付端部5aから傾斜状に延びる傾斜部5bと、傾斜部5bの先端に設けた押圧部5cと、を有している。

【0016】

取付端部5aには係合穴5d（図5）が形成されており、この取付端部5aをスリット6aに通して、係止突部2bを係合穴5dに挿入することにより、押圧部材5を構成している板バネが容器本体2に固定されている（図2参照）。なお、図4中、符号2dは、取付端部5aを案内するためのガイドリブである。

【0017】

そして押圧部材5を構成している板バネの傾斜部5bは、取付端部5aから開閉端側にかけて持ち上がるように傾斜している。さらに傾斜部5bの先端部は、摩擦抵抗部7の摺動方向に略平行に配置され得る平滑面とされ、この平滑面がシート製品4を開閉蓋3の側へ実質的に押圧する押圧部5cとなっている。押圧部5cの先は自由端部となっている。

【0018】

開閉蓋3の内側面には、ポリプロピレ系樹脂材料等であって食品適合材料によって形成された摩擦抵抗部7が取り付けられている。摩擦抵抗部7は、シート製品との摩擦係数が、積層されているシート製品同士の摩擦係数より大きくなるように選ばれた材料・形状等によって形成される。従って、摩擦抵抗部7は、シート製品4と摩擦接触し、開閉蓋3の開閉動作に伴ってシート製品4を進退移動させることができ、その際、摩擦抵抗部7とシート製品4との間の摩擦力は、移動させるべきシート製品とその直下層にあるシート製品

との間に作用する摩擦力より大きくなっているから、最上層より下の層にあるシート製品を移動させる力は小さく、最上層より下の層にあるシート製品の束は、たとえ移動しても容器本体 2 の内部前端に当接することによって容器本体から出ないようにになっている。

#### 【0019】

摩擦抵抗部 7 は、開閉蓋 3 の開閉端近傍に設けられ、図示例では、閉蓋時の押圧部 5 c に対向する位置に設けられている。摩擦抵抗部 7 を設ける位置が開閉蓋 3 の開閉端に近づくに従い、シート製品 4 を送り出す距離を大きくすることができる。

#### 【0020】

更に、容器本体 2 には、シート製品 4 の後退動を阻止するストッパー部を有する。図示例においては、仕切り板 6 は、容器本体 2 の底部から立ち上がり、開閉蓋 3 の内壁面に形成された平行なリブ 3 d (図 3 (d) 参照) に当接し得る高さに設定され、この仕切り板 6 がストッパー部として機能している。図 2 (b) を参照すれば、開閉蓋 3 を開くと、積層されたシート製品のうち摩擦抵抗部 7 と接触している最上層のシート製品 4 が、開閉蓋 3 の開動作に伴って後退動しようとするが、それをストッパー部として機能する仕切り壁 6 が阻止している。なお、図示しないが、仕切り板 6 を取り去って、例えば、容器本体 2 の後部内壁面の一部によって前記ストッパー部とすることもできる。

#### 【0021】

図示例では、図 2 (b) に良く現れているように、平坦面を有する押圧部 5 c の領域では、押圧部 5 c の押圧によって、シート製品 4 の束 (の最上層) が摩擦抵抗部 7 に押し付けられている。更に開閉蓋 3 を開くことによって摩擦抵抗部 7 が押圧部 5 c の領域を越えて傾斜部 5 b に差しかかると、開閉蓋 3 を開く方向に進むにつれて傾斜部 5 b は摩擦抵抗部 7 から離れるから、開閉蓋 3 を開くにつれてシート製品 4 と摩擦抵抗部 7 との摩擦力は小さくなり、ついには摩擦力が働かなくなる。

#### 【0022】

開閉蓋 3 を開いた状態から閉じると、図 1 (c) 及び図 2 (c) に示すように、その閉動作に伴って最上層のシート製品 4 が摩擦抵抗部 7 によって送り出される。送り出される量 (長さ) は、図示例では、押圧部材 5 を構成する板バネの傾斜部 5 b の傾斜度合いにもよるが、主として、押圧部 5 c の長さによって変わる。

#### 【0023】

容器本体 2 は、容器本体 2 の開閉端側が浅くなるようにテーパ面 2 c (図 4 (b) 参照) が形成されており、開閉蓋 3 の閉動作に伴って送り出されるシート製品 4 は、テーパ面 2 c に案内されて、開閉蓋 3 と容器本体 2 との隙間から突き出るようにして送り出される。

#### 【0024】

開閉蓋 3 を完全に閉じきると、図 1 (c) 及び図 2 (c) に示すように、シート製品 4 の一部が突き出した状態となる。この状態において、シート製品 4 は容器本体 2 と開閉蓋 3 とによって挟まれているが、その挟む力がシート製品 4 を引き出すのに支障を生じないように設計される。

#### 【0025】

そのため、開閉蓋 3 の凸条 3 b が形成されている両側片 3 a、3 a は、図示例の如く、開閉端部まで延設せず、開閉端部から後退した位置から延設しておくことができる。即ち、開閉蓋 3 は、開閉端部では天板 3 c のみによる舌片 3 e (図 3 (b) 参照) を形成し、側片 3 a を有さないことにより、天板 3 c が開閉端部における舌片 3 e が容器本体 2 から離反する方向への可撓性を有し得る。舌片 3 e が可撓性を有することにより、開閉蓋 3 の開閉操作によって送り出されるシート製品 4 は、舌片 3 e と容器本体 2 との間の隙間から出やすくなる。

#### 【0026】

また、開閉蓋 3 の舌片と容器本体 2 とがシート製品を挟む力を弱めることができ、シート製品を引き抜きやすくなる。なお、容器本体 2 及び開閉蓋 3 は、表面を滑らかにして摩擦係数を小さくしたプラスチック材料で形成することが望ましく、本例では、ポリプロピ

レンによって形成されている。

【0027】

シート製品用容器 1 から突き出した部分のシート製品 4 は、指で摘んで引き抜いても良いし、唇で挟んで引き抜いても良い。特に、指が汚れている場合であっても、唇で挟んで引き抜くことができれば衛生的であり、シート製品が可食性フィルムのように口の中に入れるものについては有利である。

【0028】

容器本体 2 及び開閉蓋 3 の開閉端の側縁 2 s、3 s の形状を、図示例の如く、平面視凹湾曲状に形成しておくことで、唇で挟んで引き抜く際等に挟みやすくなる。

【図面の簡単な説明】

【0029】

【図 1】本発明に係るシート製品用容器の一実施形態を示す斜視図であり、図 1 (a) は開閉蓋を閉じた初期状態、図 1 (b) は図 1 (a) の状態から開閉蓋を開いた状態、図 1 (c) は図 1 (b) の状態から開閉蓋を閉じた状態、をそれぞれ示している。

【図 2】図 1 の A-A 断面図であり、図 2 (a) ~ (c) は、図 1 (a) ~ (c) にそれぞれ対応している。

【図 3】図 1 のシート製品用容器の構成部品である開閉蓋を示し、図 3 (a) は平面図、図 3 (b) は図 3 (a) の B-B 断面図、図 3 (c) は底面図、図 3 (d) は図 3 (a) の C-C 断面図である。

【図 4】図 1 のシート製品用容器の構成部品である容器本体を示し、図 4 (a) は平面図、図 4 (b) は図 4 (a) の D-D 断面図、図 4 (c) は図 4 (a) の E-E 断面図である。

【図 5】図 1 のシート製品用容器の構成部品である押圧部材を示し、図 5 (a) は平面図、図 5 (b) は側面図である。

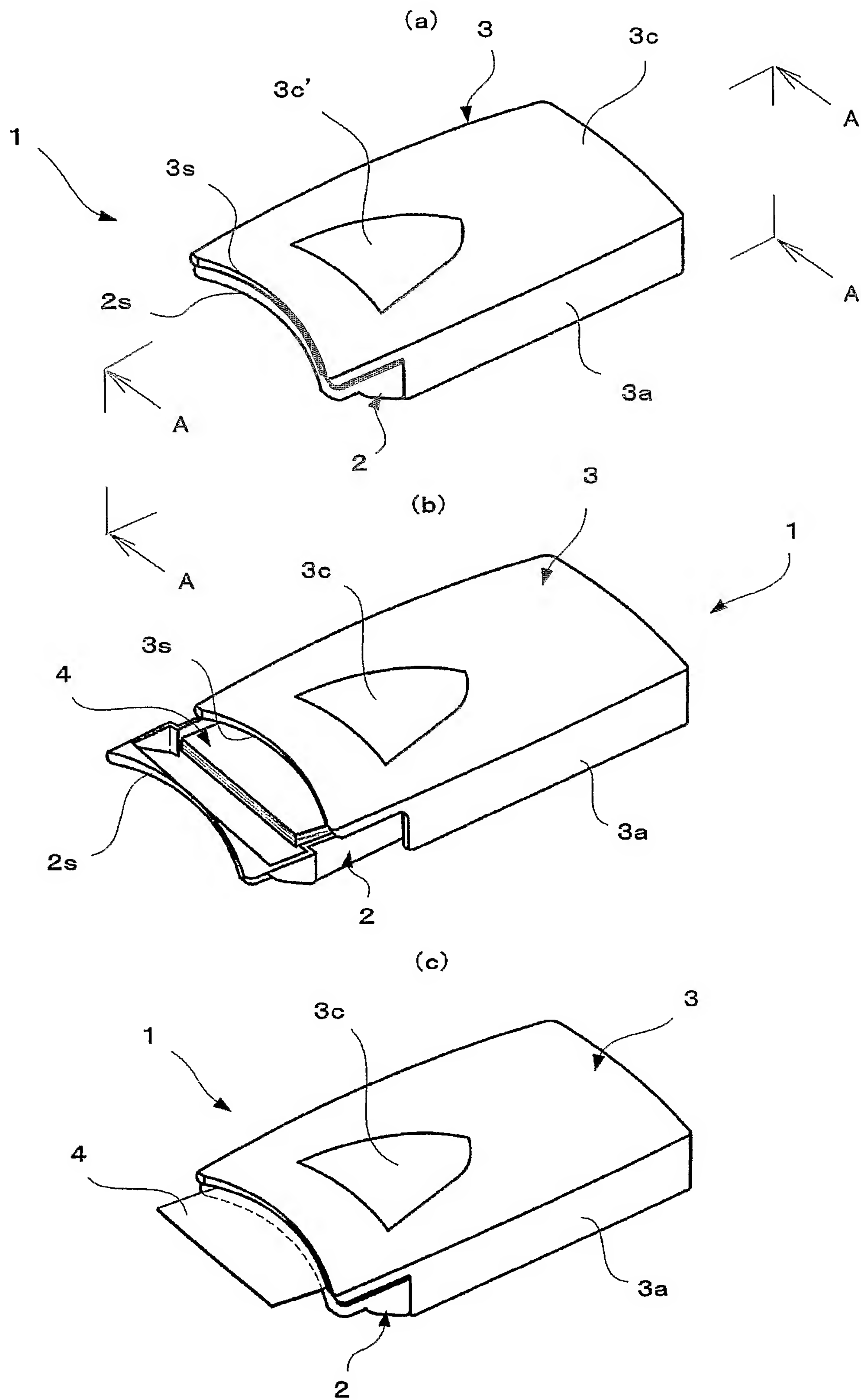
【符号の説明】

【0030】

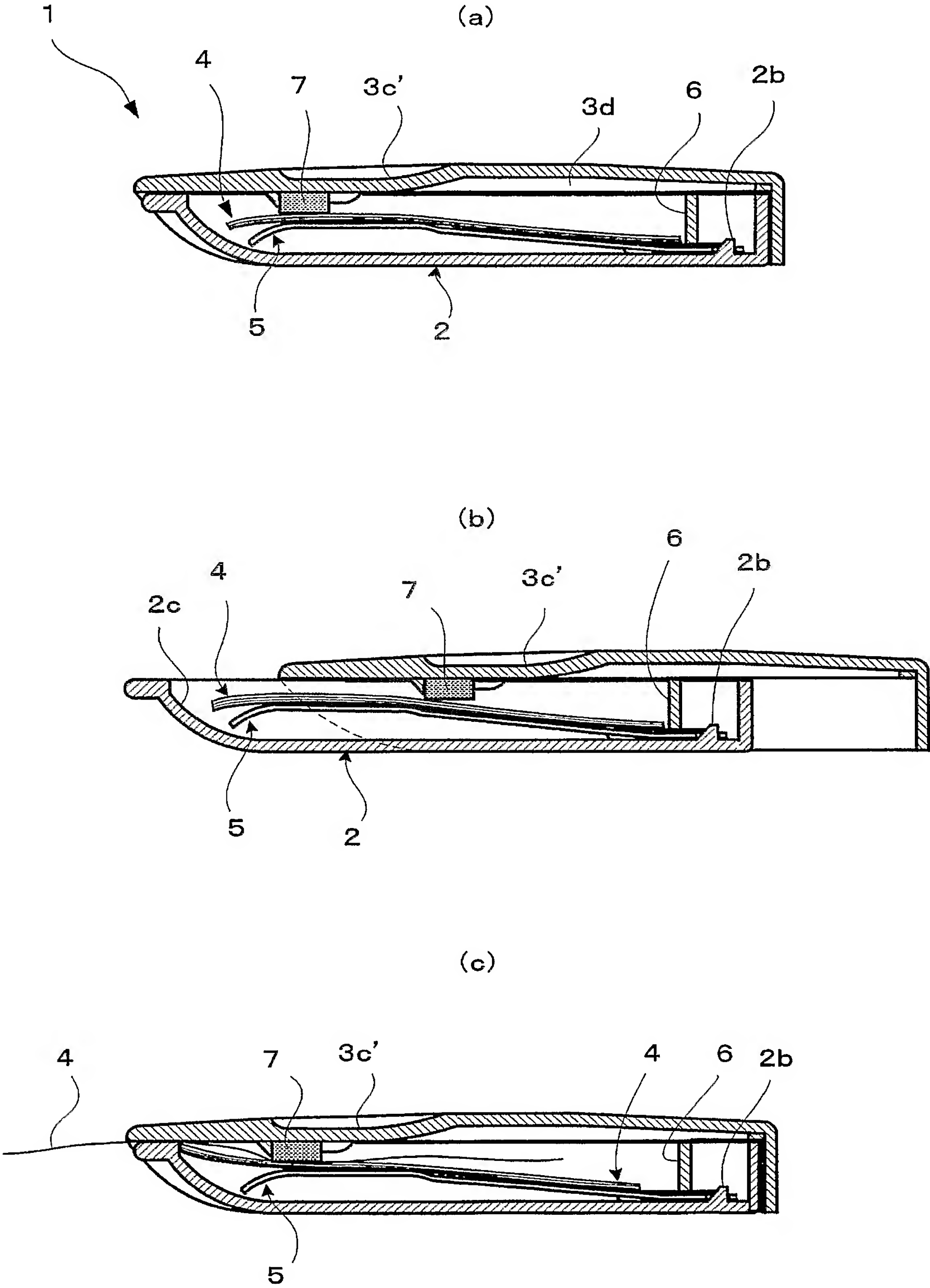
- 1 シート製品用容器
- 2 容器本体
- 3 開閉蓋
- 4 シート製品
- 5 押圧部材
- 5 a 取付端部
- 5 b 傾斜部
- 5 c 押圧部
- 7 摩擦抵抗部



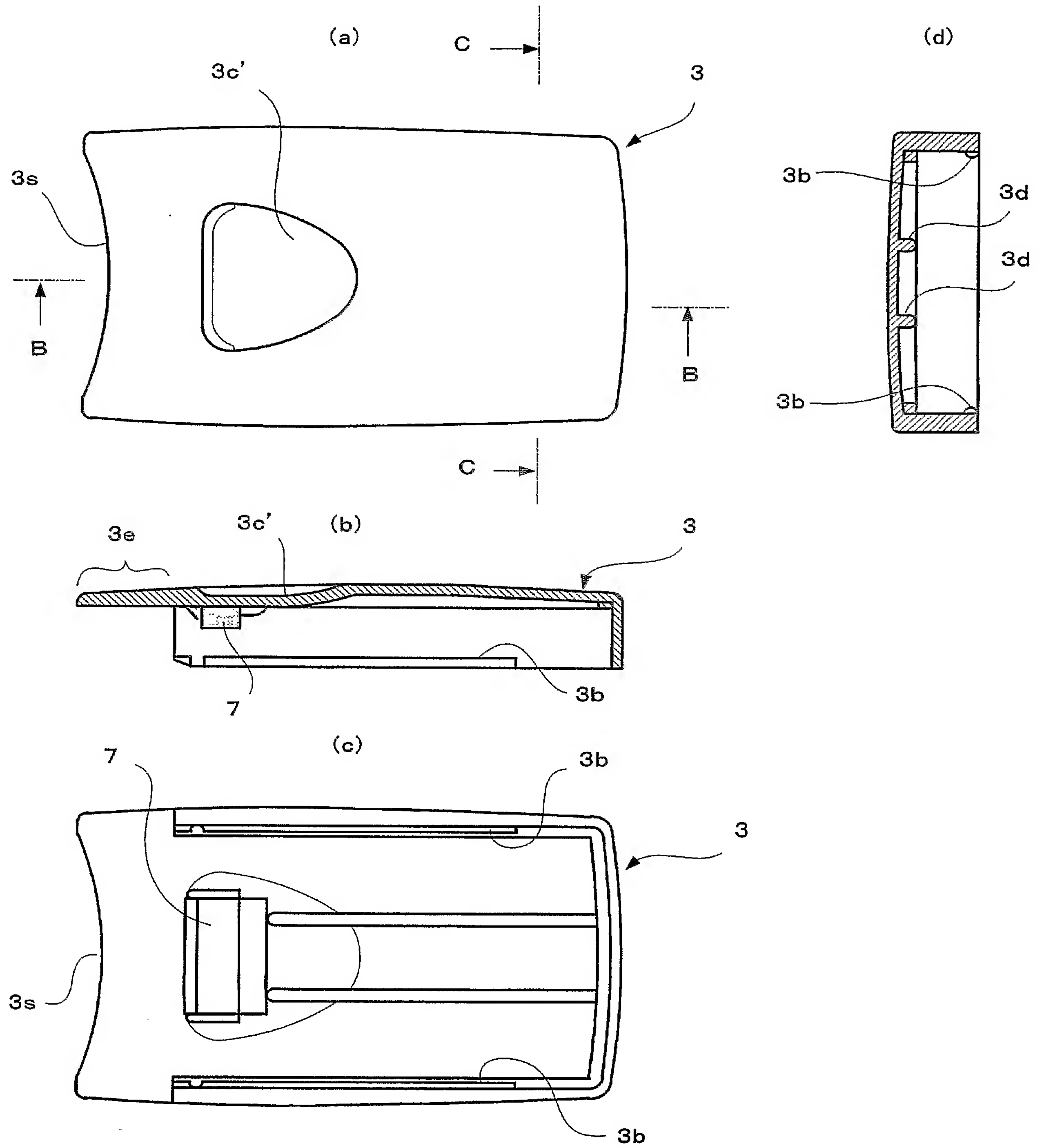
【書類名】 図面  
【図 1】



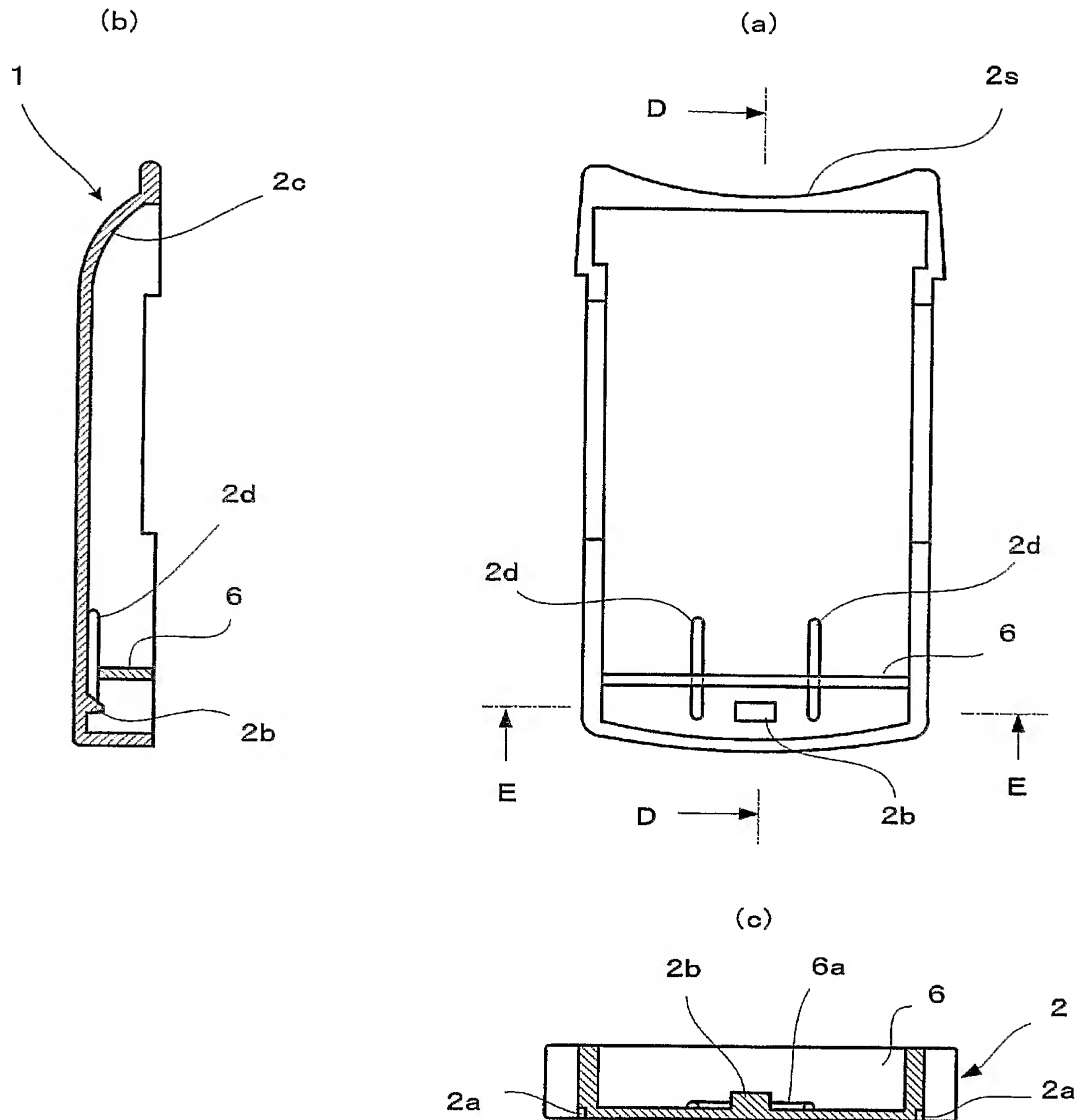
【図 2】



【図 3】

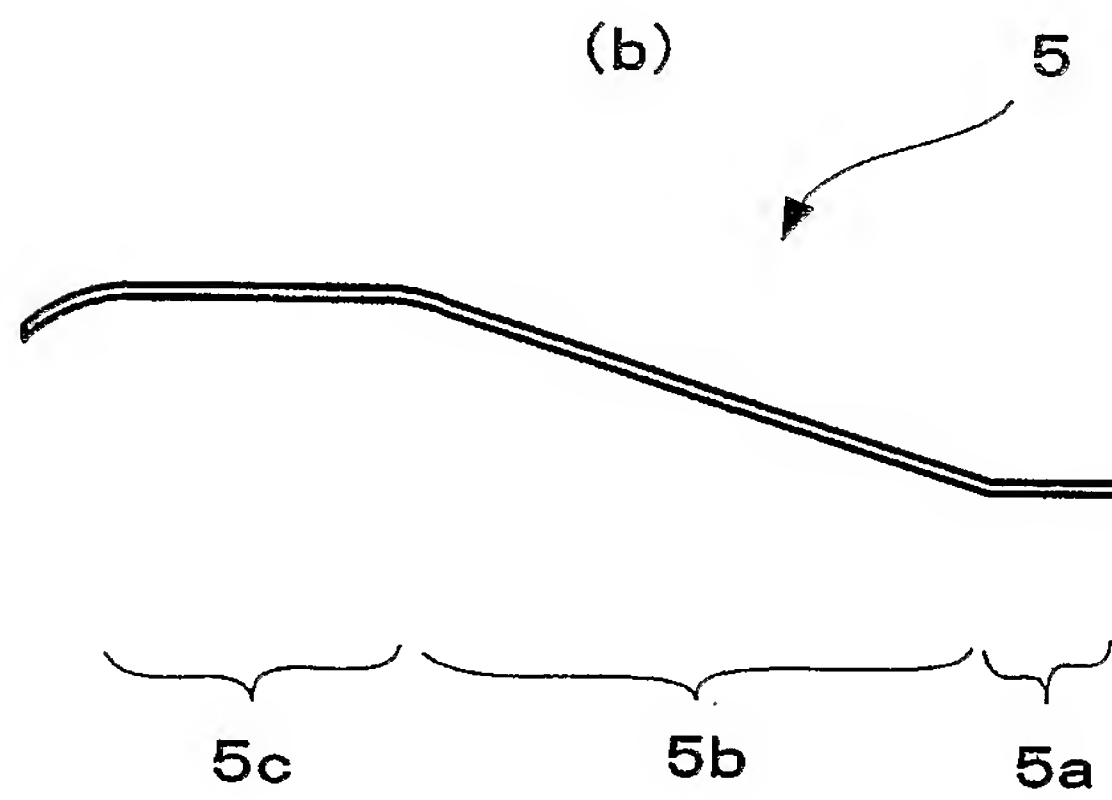
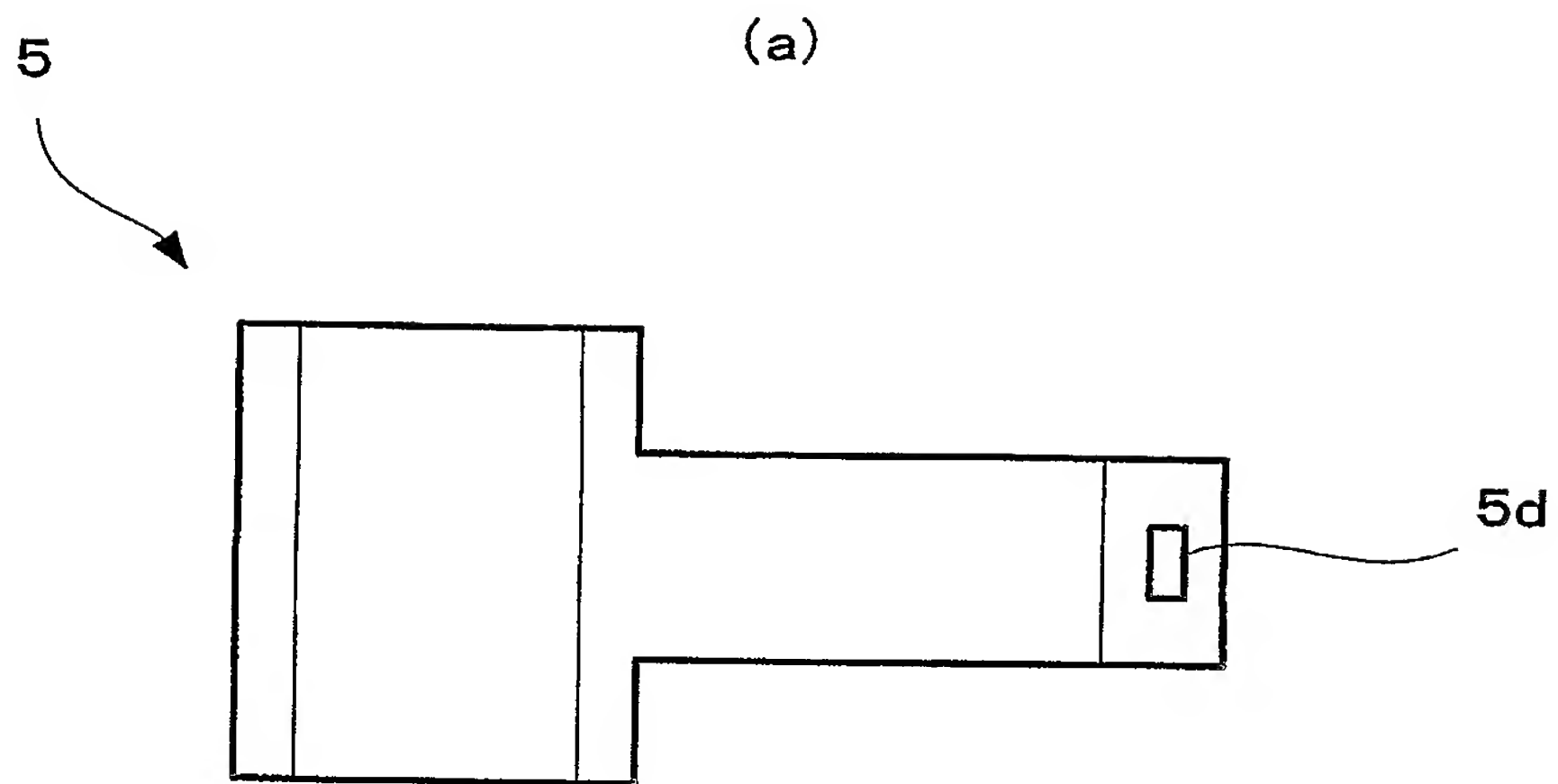


【図 4】





【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 容器内に収容されたシート製品の束から一枚ずつ取り出し易くした、シート製品用容器を提供する。

【解決手段】 トレイ状の容器本体 2 と、容器本体 2 に摺動自在に取り付けられた開閉蓋 3 と、容器 1 内に収容されるシート製品 4 を開閉蓋 3 の内側面に向けて弾性的に押圧する押圧部材 5 と、開閉蓋 3 の閉動作に伴ってシート製品 4 を送り出すように開閉蓋 3 の内側面に設けられた摩擦抵抗部 7 と、開閉蓋 3 の開動作に伴う摩擦抵抗部 7 によるシート製品 4 の後退動を阻止するように容器本体 2 に設けられたストッパー部 (6) と、を有することとした。

【選択図】 図 2

特願 2 0 0 4 - 0 1 7 5 0 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 2 0 6 9 5 6 ]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 7 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都千代田区神田司町 2 丁目 9 番地

氏 名

大塚製薬株式会社